

令和4年度 第4回 浜松市立西気賀小学校運営協議会 会議録

- 1 開催日時 令和5年2月15日(水) 14時00分から15時20分まで
- 2 開催場所 西気賀小学校 図書室
- 3 出席委員 中嶋雅子、藤田寛、小川正寛、水田寛子、藤田重晴、柴田喜久秧、上嶋裕志、伊藤恭子
- 4 欠席委員 2名
- 5 学 校 竹村元清(校長)、徳増弘宣(教頭)、間渕由利子(CSディレクター)

6 協議事項

(1) 資格及び議事録確認 会長および校長挨拶

(2) 熟議

①学校評価アンケートの結果より～令和5年度学校経営方針について

②学校運営協議会の自己評価及び1年間のCS活動の振り返り

- 8 会議録作成者 CSディレクター 間渕由利子

9 会議記録

(1) 司会の徳増教頭から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

議長について中嶋会長を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。

(2) 熟議

①学校評価アンケートの結果～令和5年度学校経営方針について

校長からアンケート集計結果をふまえての令和5年度の学校経営方針についての説明があり、それについて委員から以下の発言があった。

・ 学校教育目標の項目が変わった気がするが？(中嶋会長)

→学校の教育方法も時代とともにどんどん変化しているためそれに合わせたかたちに変えていく必要があり、教育目標も少しずつ変わっている。(校長)

・ 学校教育目標にあえてスポーツフェスティバルを組み込んでるのは？(中嶋会長)

→スポーツフェスティバルは「体育の授業や昼活動の発表の場」という立ち位置で重きを置いた活動になっているため、来年度は教育目標の項目に組み込んだ。(校長)

・ 学習発表会の代わりに参観会の一環として一人一人の発表する場を設ける、ということだが、具体的にはどのようにやるのか？また、今後は学年を超えて協同作業するということや全校で活動するという機会がなくなってしまう？(水田委員・伊藤委員)

→(現時点での案だが)縦割りで4グループに分け、4つの教室に分かれて一人一人が日々の学習の成果を自分の言葉で発表する機会を設けることで、子供たち一人一人が主役になれる。全校集会が定期的にあるので全体で活動する場がなくなることはない。(校長)

・ 地域の方もお招きして大勢の前で発表する機会を作ってあげてほしい。(中嶋会長)

・ 小規模校の利点として一人一人が主役になれる機会があることは素晴らしい。子供たちの自信につながると思う。(上嶋委員)

上記内容について全員意義なく承認した。

②学校運営協議会の自己評価及び1年間のCS活動の振り返り

<評価項目1>→学校運営の基本方針について熟議ができたと思う。

- ・今年度は学校に来て子供たちの活動を見る機会があったので様子が分かってよかった。地域とともに歩む姿勢が強く感じられてよかった。(藤田重委員)
- ・少人数で内容の濃い学習ができています。一人一人と向き合いじっくり勉強ができています。一体感が感じられる。(藤田寛委員)
- ・校長先生が丁寧に学校教育方針を説明してくれるのが良かった。(中島会長)

<評価項目2>→学校運営に資する活動について熟議を進められたと思う。

- ・子供たちの活動を実際見ることができたのがよかった。また、先生方と直接話す機会を設けてくれたことはよかった。(中島会長)

<評価項目3>

- ・来年度の目標について、地域とともに歩む学校づくり。子供たちがお互いの良さを認めあい良さを伸ばす教育をぜひ継続してほしい。(藤田重委員)
- ・来年度は西気賀小150周年という機会なのでぜひ地域に積極的に西気賀小を発信してほしい。(中島会長)

報告事項等

司会から、来年度の新委員についてと学校運営協議会開催予定についての説明があった。